

# 地震対策

## 南海トラフ地震とは…

南海トラフ地震とは、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として、概ね100～150年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震のことをいいます。前回の発生から70年以上が経過し、今後30年以内の発生確率は70～80%とされています。なお、南海トラフで異常な現象が観測された場合や、地震発生の可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると評価された場合に、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。臨時情報が発表された場合は、地震に備え、町の呼びかけに応じた防災対応をとりましょう。

南海トラフ地震臨時情報



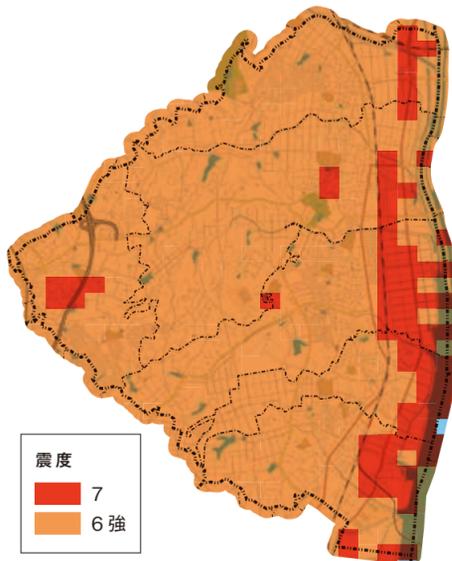
| 被害項目     | 理論上最大想定モデル | 過去地震最大モデル |
|----------|------------|-----------|
| 最大震度     | 7          | 6強        |
| 最大津波高    | 2.8m       | 2.9m      |
| 最短津波到達時間 | 83分        | 85分       |
| 死者数      |            |           |
| 建物倒壊等    | 約200名      | 約30名      |
| 浸水・津波    | 約50名       | 約10名      |
| 火災       | 約80名       | わずか       |
| 合計       | ※約300名     | ※約40名     |
| 建物全壊     |            |           |
| 揺れ       | 約2,800棟    | 約600棟     |
| 液状化      | 約10棟       | 約10棟      |
| 浸水・津波    | 約50棟       | 約60棟      |
| 火災       | 約2,200棟    | 約700棟     |
| 合計       | 約5,100棟    | 約1,300棟   |

被害予測調査結果

※端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。  
 ※最大津波高は、「理論上最大想定モデル」よりも「過去地震最大モデル」のほうが高くなっています。これは地形と津波の波長との関係で共振現象が起きたために局所的に高くなったと考えられます。  
 平成26年5月 愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査より

## 南海トラフ地震の震度分布図

町内では震度6強～7の非常に強い揺れが予想されています。

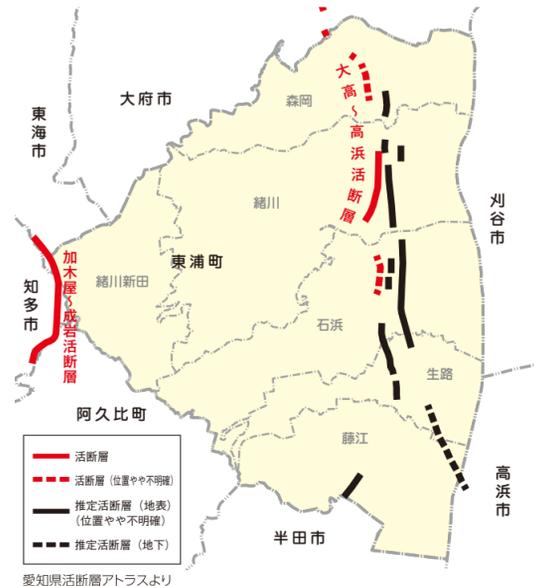


平成26年5月愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査より

## 活断層とは…

活断層とは、約200万年前から現在までの間に繰り返し活動し、将来も活動して内陸型地震を引き起こすと考えられる断層のことをいいます。

東浦町には、「大高-高浜活断層」があります。また、東浦町周辺には、「加木屋-成岩活断層」といった活断層もあります。



## 震度と揺れの大きさ (震度0～3略)

| 震度4   | 震度5弱  | 震度5強   | 震度6弱  |
|---|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●ほとんどの人が揺れを感じる。</li> <li>●電灯は大きく揺れる。</li> <li>●座りの悪い置物が倒れる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●揺れに恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。</li> <li>●電灯は激しく揺れる。</li> <li>●食器類や本が落ちる。</li> <li>●固定していない家具が移動する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●物につかまらなさと歩くことが難しい。</li> <li>●テレビが台から落ちる。</li> <li>●固定していない家具は倒れる。</li> <li>●窓ガラスが割れて落ちる。</li> <li>●ブロック塀が崩れる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●立っていることが困難になる。</li> <li>●ドアが開かなくなることがある。</li> <li>●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。</li> </ul> |

## 東浦町で予想される震度6強～7

- はわなないと動くことができない。
- 耐震性の低い木造建物は、壁などに大きなひび割れ、亀裂が入る。また、傾くものや倒れるものが多くなる。



## 地震発生時の時間別行動マニュアル

家の中の安全対策と防災に関する補助金については、P26を見るのじゃ!

**地震発生**

- 2～5分**
  - とにかく自分の身を守ろう！ **地震だ！まず身の安全**

大きな揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたら、**姿勢を低くし、頭を守り、揺れが完全におさまるまで待ちましょう。**
- 5～10分**
  - しっかり火の始末で、火災防止！ **大揺れがおさまった**

台所やストーブなど**火の始末**をしましょう。避難の時は、**電気のブレーカーを下ろし、ガスの元栓を閉め**ましょう。
- 10分～半日**
  - わが家の安全確認、確保！ **火の始末のあと**

家族の身の安全を確認、確保し、災害情報、避難情報を入手しましょう。また、避難可能な出口も確保しましょう。
- 半日～3日**
  - 隣近所の安否確認、助け合い！ **外に出たあと**

下敷きになった**人の救出や、支援が必要な人の誘導、消火活動**などを隣近所で協力して行いましょう。
- 2、3日をしのぐ！** **避難後、数日間**

地震発生後の数日間は、水、食糧に加え、電気、ガス、水道などの供給が途絶えます。この間、日頃から準備していた**生活必需品(非常用品)**で、しのげるようにしておきましょう。

## こんな場所にいたらどうする？

| 路上   | デパート・スーパー  | 劇場・ホール  |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆揺れを感じたら、窓ガラス、看板などの落下物に注意し、頭をかばんなどで保護する。</li> <li>◆完全に揺れがおさまったら、空き地や公園などの安全な場所に避難する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆かばんなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆かばんなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。あわてず冷静な行動をとる。</li> </ul>   |
| 車を運転中  | 集合住宅   | 電車などの車内   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ハンドルをしっかり握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ドアや窓を開けて避難口を確保する。</li> <li>◆避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。</li> <li>◆途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外に出たり、窓から飛び降りたりしない。</li> <li>◆乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。</li> </ul> |
| 海岸付近   |  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。</li> </ul>  |  |   |